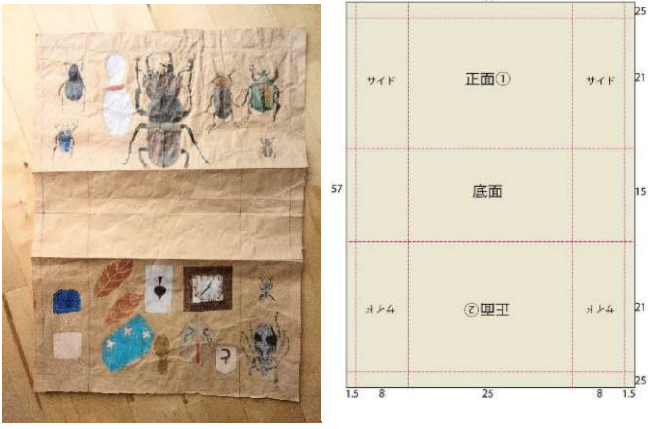


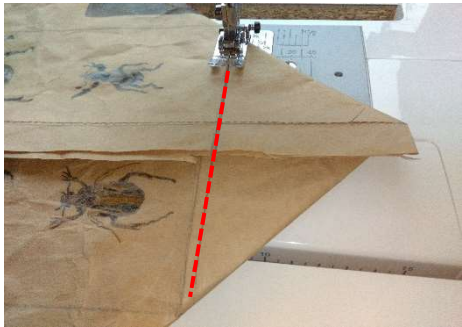


## 「小麦粉袋のアップサイクル」細分化工程表

	<p>1) 展開図に沿って描かれた小麦粉袋を確認する。</p> <p>(図形の把握)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. できない</li> <li>2. 支援があればできる</li> <li>3. できる</li> </ol>
	<p>2) 二つ折りにして左右を合わせる。</p> <p>(スムーズな指先の動き)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. できない</li> <li>2. 支援があればできる</li> <li>3. できる</li> </ol>
	<p>3) 右端の縫い代の印を縫う。(ミシンの縫い目の長さは3.5mm)</p> <p>(実行機能・危機察知能力)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. できない</li> <li>2. 支援があればできる</li> <li>3. できる</li> </ol>
	<p>4) 縫った下の部分を三角になるよう折り曲げて縫い、マチ部分を作る。</p> <p>(実行機能・危機察知能力)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. できない</li> <li>2. 支援があればできる</li> <li>3. できる</li> </ol>



5) 袋の底が破れないよう優しくマチ部分を返し、三角部分と右端の縫い代をL字に縫う。

(手指の巧緻機能・危機察知能力)

1. できない
2. 支援があればできる
3. できる



6) 左端も同様に縫う。

(手指の巧緻機能・危機察知能力)

1. できない
2. 支援があればできる
3. できる



7) 同サイズの内側用のバックを袋口部分を外側に折り曲げて縫う。(マチ部分のL字縫いはしなくてもよい)

(手指の適切な保持力・危機察知能力・実行機能)

1. できない
2. 支援があればできる
3. できる



8) 2本の重ね縫いした持ち手を作る。

(手指の適切な保持力・危機察知能力・実行機能)

1. できない
2. 支援があればできる
3. できる

	<p>9) 内側用のバックの両端から 11 c m の所に持ち手を縫い付ける。</p> <p>(危機察知能力・実行機能)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. できない</li> <li>2. 支援があればできる</li> <li>3. できる</li> </ol>
	<p>10) 持ち手を付けた内側バックを表バック内にバランス良く入れる。</p> <p>(図形の把握)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. できない</li> <li>2. 支援があればできる</li> <li>3. できる</li> </ol>
	<p>11) 内側バックと高さが合うように表のバックを内側に折りこみ、表側と内側二枚を重ねて一緒に縫う。</p> <p>(図形の把握・手指の巧緻機能・危機察知能力)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. できない</li> <li>2. 支援があればできる</li> <li>3. できる</li> </ol>
	<p>12) 完成</p>